

ICAプレジデント主催「ICAの夕べ」を開催

日本銅センターとICA（国際銅協会）は去る11月13日コートヤード・マリオット銀座東武ホテル（東京）において「ICAの夕べ」を開催した。

本ディナーパーティーはICAプレジデントの主催により「忘年会」として2005年から開催されており、年末の恒例行事となっている。

今年は同時期にICAのManagement Committeeが日本でミーティングを行っていた事もあり、ICAからFrank Kane社長他5名のMcommメンバーの参加の下、日本銅センター吉田副会長を始めとしてICAプロジェクトを通して日頃お世話になっている方々約40名をご招待しての盛大なパーティーとなった。

Kane社長の挨拶に始まり、日高専務理事によるICA/JCDA共同プロジェクトの紹介があり、引き続き吉田副会長の音頭による乾杯が行われた。

パーティー半ばではICAの日本銅センター正会員入会を記念するセレモニーが執り行われ、吉田副会長からKane社長に

京都の匠板金職人に特注した銅製の折り鶴・亀のセットが贈呈された。

その後Kane社長が各テーブルを廻ってゲストとの懇親を深めた。最後にCDAのKireta氏がN.Y.から持参したヤンキースの優勝記念野球帽を全員がかぶり、忘年会らしい笑顔での記念撮影でお開きとなった。



NEWS

銅センターニュース

NEWS 1

セミナー「銅のインフルエンザウイルスに対する不活性化効果について」開催

日本銅センターでは、去る11月12日、東京ビックサイトで行われた東アジア感染症制御学会でセミナー「銅のインフルエンザウイルスに対する不活性化効果」を開催した。英国サザンプトン大学ウィリアム・キーヴィル教授と北里大学医学部笹原武志氏が細菌やウイルスへの銅素材の効果について講演した。キーヴィル教授は「インフルエンザに対する銅の殺菌性」について説明。教授は20年来銅の殺菌効果について研究を重ねており、現在も流行する新型インフルエンザに銅表面の殺菌効果が有効であると世界で初めて実証している。



講演するウィリアム・キーヴィル教授

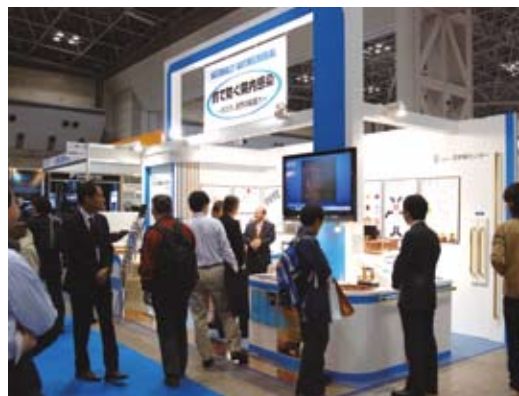
NEWS 2

第34回HOSPEXに出展

日本銅センターでは、去る11月11日～13日（東京ビックサイト）に行われた「第34回HOSPEX」に出展した。

騒動の真只中にあった新型インフルエンザ、院内感染など、病院をとりまく衛生環境の改善は喫緊のテーマとされている。

当センターブースでは北里大学医学部および北里大学病院での殺菌実証試験によって、銅が環境表面においてすぐれた殺菌特性を示し、病院環境改善や院内感染抑制に役立つことを紹介。また米国環境保護府（EPA）が、銅の殺菌力を認め、金属で初めて殺菌性表示が認可されたことや英国サザンプトン大学のキーヴィル教授がインフルエンザに対する不活性化効果が銅にあることなど、内容は盛りだくさん。注目を集める話題にブースには熱い視線が注がれていた。



TOPICS 1

子ども向けプログラム 「経済産業省を探検しよう」開催

経済産業省では、去る8月19日、20日の両日、同省本館1階ロビーにおいて子ども向けプログラム「経済産業省を探検しよう」を開催した。このプログラムは、日本の産業の側面を子ども向けのテーマに絞込み、わかりやすく、おもしろく紹介するもの。そのひとつ「水まわりのぬめりをとる金属ってなあに？」のコーナーでは、“身のまわりの身近な「金属」のことを知っていますか？銅やアルミやチタン…実はこんなすごいパワーがあるんです！まだまだ知られていない銅のすぐれた殺菌パワーを実感してね！”と唱い、さまざまな展示が行われた。銅を使った折り鶴づくりなど、このコーナーには人気が集まり、多数の親子連れが参加。途中で予約受付の整理券が出るほどのにぎわいとなった。



TOPICS 2

「京都ものづくりフェア」開催

去る11月14日、15日の2日間にわたり京都府総合見本市会館において「人から人へ、そして未来へ—京都ものづくりフェア」が開催された。このフェアは京都のものづくり産業とそのすぐれた技術・技能を紹介し、実演や体験で見て、触れてもらい「ものづくり」の楽しさや大切さ、技術・技能のすばらしさを感じてもらおうというもので、毎年行われている。

日本銅センターでは、このフェアに協賛、銅の殺菌特性をアピールしたパネルや銅製品展示に全面協力した。会場には多くの来場者が集まり、盛況のうちに終了した。



TOPICS 3

カビ・ぬめりを抑制— まとまるヘアキャッチャー人気ふっとう！

近年、暮らしのさまざまなシーンで銅の殺菌作用を活かした銅製品が活躍しているが、浴室の排水口に設置し、効率よく、衛生的に髪の毛をキャッチする「銅製まとまるヘアキャッチャー」が大人気を呼んでいる。

銅の殺菌効果で排水口のカビ・ヌメリを抑制し、排水口に流れた髪の毛を自然にまとめるカップ形状。さらに独自の形状で掃除はとてかんたんのため、人気爆発、すでに3万個以上が販売されている。

〈まとまるヘアキャッチャー〉

- 販売元／日立電線商事(株)
- 製造元／(有)コーヨー



編集後記

- 2010年、銅誌169号(本号)で創刊50周年を迎えました。
- 読者の皆様はじめ銅業界の関係各位に支えられ半世紀の歴史を刻むことができました。心より感謝申し上げます。
- 誌名も創刊号「プラス」(伸銅協会発行時)・「銅と技術」・「銅」と変遷。
- 1995年から現在の本誌に衣替え(A4版、

- オールカラー、16ページ立て)。
- 今回は世界初の誕生、銅の内装を施したクリニックのビッグニュースを掲載。
- 今後ともさらに銅の魅力を訴求してまいります。読者の皆様のご支援、ご愛読よろしくお願いたします。

編集デスク 斉藤 久嘉 (日本銅センター)

情報発信委員会

〈委員長〉秋元伸二(古河電気工業(株))
 〈委員〉鉦山／塚本弘之(三菱マテリアル(株))、植村寛周(バンバンフィック・カッパー(株))、永田禎彦(日本鋳業協会) 伸銅／堀田修司((株)神戸製鋼所)、谷敬三(日本伸銅協会)電線／湯谷彰((株)フジクラ)、後藤信之((社)日本電線工業会)(日本銅センター)和田正彦、幸洋二、宮田充